

「知る」「残す」「継ぐ」



ごあいさつ

兵庫県南部地震が引き起こした「阪神・淡路大震災」から、今年で25年の節目を迎えました。1995年1月17日に発生した戦後最大の大都市直下型地震で6,434名が亡くなりました。学園でもこの震災で工大生1名、工大高(現・常翔高)生1名の尊い命が奪われたほか、32名が負傷しました。

また、未曾有の大災害となった「東日本大震災」は、今年の3月11日で9年を迎えます。マグニチュード9.0という規模は国内史上最大で、東日本各地で大きな揺れを観測し、海岸線には巨大津波が押し寄せました。15,897名(2019年3月1日現在)が亡くなり、今なお仮設住宅等での生活を余儀なくされている被災者の方もおられます。

「南海トラフ巨大地震」は今後30年以内に70～80%の確率で発生すると言われ、私たちが暮らす大阪にも大きな被害が出ると想定されています。

今回の特別展示が、過去の震災から学ぶ教訓や経験を「知る」「残す」「継ぐ」機会となり、ご来館の皆様への防災・減災意識の向上につながれば幸いです。

最後になりましたが、この特別展示にあたりご協力を賜りました毎日新聞社、自衛隊大阪地方協力本部、大阪府危機管理室ならびに学内関係者の皆様に、心からお礼申し上げます。

常翔歴史館

主催 学校法人常翔学園 常翔歴史館

会期 2020年2月3日(月)～3月27日(金)

※3月2日(月)からは「東日本大震災」に関連する展示を追加します。

会場 常翔歴史館常設展示室(入館無料)

開館時間 11:00-17:00<土・日・祝日および2月10日(月)は休館>

問合せ先 常翔歴史館事務室 Tel:06-6955-7762 E-mail: Rekishikan@joshu.ac.jp